

【算数】

＜学習内容＞

◆時こくと時間（きょうかしょ 15～19 ページ）

(1) きょうかしょ 15 ページのように、1 日のせいかつで、なにかに取りくんだ時こくをしらべて、ノートか取組シートにきろくしよう。

(2) こくごの「がくしゅうかだい」に取り組んだ日に、べんきょうをはじめた時こくとおわった時こくをノートか取組シートにきろくしよう。

もし、しらべることをわすれたら、「夕ごはんをたべはじめた時こくと、たべおえた時こく」や「テレビを見はじめた時こくと、見おえた時こく」などにかえてもいいですよ。



(3) お休みの日に、おうちの人ととけいを見ながら、「いま、なんじだね」、「なんぷんたったね」、という話をしよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆時こくと時間（教科書 P15～19）

- ・時間と時刻の違いは、2年生の子どもにとって大変分かりづらい部分があります。お休みの日などを利用して、日常生活の中で、「30 分たったよ」とか、「今日は○時間寝たね」などと時刻と時間に関する会話を意識的に行うことで、生活の中で「時間」を捉えていくことができます。
- ・教科書 p18、19 のテープの図のように、時刻と時刻の間の長さが時間を表すということを、捉えさせることで時刻と時間の違いが分かりやすくなりますが、「時刻と時間」の学習は、1年生から3年生までかけて理解できるようにしていくため、無理せずに関わっていただければと思います。